

多田雅史

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol.2 2 2】

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約400カ所へBCC送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。

本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。

- (1) 新規の情報提供希望者が身近におられた場合、BYA-HPの「お問合せ」をご紹介ください。
<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>
- (2) 有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。
- (3) 情報の中で「拡散すべき情報」があれば、皆さんの判断で自由に「転送・SNS拡散」してください。

【目次】

1. 目のトラブルに心のケア__日本診療眼科研究会__日経__2020年8月24日 (添付)
2. 目の機能と「うつ」とは意外に関係が深い (若倉雅登 井上眼科病院名誉院長) (添付)
3. 難病女性が国に勝訴 障害年金受給認める—東京地裁
4. 敦賀病院が賠償金400万円で和解
5. 医師の白衣が引っ掛かり車いすが転倒、頸椎損傷 那覇地裁が賠償命令「県立病院の配慮不十分」
6. 障害年金の受給には「医師の診断書」がカギを握っている
7. グローバルな薬物乱用治療市場—乱用の種類別 (アルコール依存症、ハロコチン中毒、薬物乱用、その他)

【記事】

1. 目のトラブルに心のケア__日本診療眼科研究会__日経__2020年8月24日 (添付)

以下引用

『ストレスなど心理的要因で視力が落ちたり目に痛みを感じたりする心因性 (器質的) 視覚障害が小児を中心に増えている。眼科医らが治療法を研究する会を立ち上げたほか、「心療眼科」と銘打った専門外来や相談窓口も登場。「目の心身症」への対応が進みつつある。』

2. 目の機能と「うつ」とは意外に関係が深い (若倉雅登 井上眼科病院名誉院長) (添付)

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200811-OYTET50005/>

以下引用

『破裂した片方の眼球の視力が低下したことで両眼視機能 (両目で見て距離感や立体感を測る機能) が失われたことが、日常生活に大きな不自由をもたらしたのです。ただ、なぜ不自由なのかや、これ以上の改善は医学的には限界があるとの説明が医師からなかったことで、状況が理解できず将来を悲観するまでになったのです。』

3. 難病女性が国に勝訴 障害年金受給認める—東京地裁

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020060501133&q=soc>

以下引用

『難病の線維筋痛症にかかった東京都練馬区の女性 (41) が障害厚生年金などの支給を認めない厚生労働省の処分を取り消すよう求めた訴訟の判決で、東京地裁の鎌野真敬裁判長は5日、不支給を「違法」と判断、処分を取り消した。』

4. 敦賀病院が賠償金400万円で和解

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1151261>

以下引用

『福井県敦賀市にある市立敦賀病院は8月25日、昨年5月に市内の20代女性に妊娠を調べる尿検査を行った際、使用期限が過ぎた試薬を使ったため早期に子宮外妊娠と確定できず、温存を希望していた卵管を切除する医療事故があったと発表した。賠償金400万円を支払うことで女性側と和解が成立し、9月市議会に関連議案を提出する。』

5. 医師の白衣が引っ掛かり車いすが転倒、頸椎損傷 那覇地裁が賠償命令「県立病院の配慮不十分」

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/623161>

以下引用

『2012年7月、南風原町の県立南部医療センター・こども医療センターに研修医として勤務していた車いすの40代女性医師が、病院内で男性医師とすれ違った際に転倒し、頸（けい）髄損傷の後遺障害が悪化したとして男性医師や県に損害賠償を求めた訴訟の判決が27日、那覇地裁であった。平山馨裁判長は原告側の請求を大筋認め、県などに約5200万円の支払いを命じた。』

6. 障害年金の受給には「医師の診断書」がカギを握っている

<https://diamond.jp/articles/-/193411>

以下引用

『給付を受けるためには、障害の原因となった疾病や体の部位ごとに決められた認定基準をクリアする必要があるが、抗がん剤や放射線などの副作用は、他人からは分かりにくく、請求しても受給に漕ぎつけないことも多いからだ。こうした厳しい認定基準をクリアして、障害年金を受けるカギになっているのが「医師の診断書」だ。』

7. グローバルな薬物乱用治療市場—乱用の種類別（アルコール依存症、バニコニン中毒、薬物乱用、その他）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000244.000059861.html>

以下引用

『薬物乱用とは、薬物、アルコール、喫煙などの有害な精神活性物質の使用を指します。ティーンエイジャーと若者の間での喫煙傾向の上昇は、市場の成長の主要な推進力です。2018年の世界成人たばこ調査（GATS）によると、中国では人口の26.6%が喫煙者であり、喫煙に依存しているため、健康に非常に有害です。薬物依存症の発生率と数は、時間とともに加速しています。一方、米国では成人の38%が薬物を不法に使用しています。2017年の薬物使用と健康に関する全国調査（NSDUH）によると、1970万人のアメリカ人成人（12歳以上）は薬物使用障害複合体を患っていました。米国の成人の38%が違法薬物使用障害を患っていました。』



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史